

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 26年 10 月 22 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470103452		
法人名	有限会社美泉		
事業所名	グループホームよってきんさい二葉の里		
所在地	〒732-0057 広島市東区二葉の里2丁目5番27号 (電話) 082-568-5655		
自己評価作成日	平成26年10月3日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2014_022_kani=true&JigyosyoCd=3470103452-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成26年10月17日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>近くに鶴羽根神社や明星院寺があり、静かで庭に緑も多い古民家改造型のグループホーム。利用者様が我が家の様に安心した生活が出来る様に利用者様の立場にたった優しい対応を目指している。利用者様の笑顔が見られるよう心からのケアを心掛けている。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>古民家を改造して特色のある造りや広さの部屋を用意し、縁側や階段、広い庭等、日本家屋の特徴は残して馴染みの深い環境を残す工夫がされている。近所には神社、寺院、幼稚園、公園があり交流や季節を感じる事の出来る散歩コースとして楽しむことが出来る。会社全体の取り組みとしては2つの特徴があり、1つは家族も巻き込んだバス旅行であり、去年は出雲大社へお参りした。2つ目に本人・家族の要望があれば、医療との連携と施設の管理者が看護師であることから看取りをしている。その中で、最期まで動ける、人とのかわりが出来る状態であるように努力している。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	美泉開設時よりの運営理念があり、職員の見える所に理念をあげ朝申し送り時には唱和し共有している。毎年新年互礼会で理念を元に各事業所で目標を掲げ、日々取り組んでいる。	開設以来の運営理念を基に、毎年、年初めにそれぞれの施設の行動目標を掲げている。今年は「報告・連絡・相談を徹底する」と「家族とのコミュニケーションを深める」の2つであり、毎日の朝礼で確認と唱和を実施している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に属しており、町内会清掃や町内行事等に利用者様と参加し交流に努めている。	町内会の一員として、合同清掃や行事に参加するように努めているが、近隣には一般の住居が少ないこと、日中不在の家庭が多いことから神社や寺院とのかかわりを持つように努力している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域（町内）の方から相談を受けて、認知症への対応の仕方について話す機会を持っている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議は2ヶ月に1度行っている。ホームの行事や現状報告等をし、地域の方々との意見交換を行っている。	施設からは、活動報告、出席者からは研修講師の紹介をしていただき、研修会を実施した月もあった。施設のリビングで開催していることから、利用者の生活の様子を見ていただくことが可能となっている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	生活保護受給者の為に生活課と連絡を取っている。地域包括支援センターより会議に参加頂き、事業所の活動や状況を伝え、地域の情報を頂いている。	相談窓口は、会社に一本化されている。施設として直接的に市町との連絡を取り合っているのは、生活保護対象者に関して生活課としている。当該の地域包括支援センターは会議に出席していただき、情報の交換をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>マニュアルを作成し、身体拘束しないケアを正しく理解している。日中の玄関は鍵をかけず開放し、ベット柵は必要以上しないように取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束禁止マニュアルを作成し、新人教育において介護の正しい知識を勉強している。日中はウッドデッキ、玄関はかぎをかけておらず自由に出入りできる状態としている。また、ベット柵は原則使用せずセンサーマットで危険の回避に努めている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>研修を受け学んでいる。虐待が見過ごされる事がない様にお互いに努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>社内研修や会議、ミーティング等で学んでいる。必要時は上司に報告し、弁護士と連携をして個々の必要者に支援している。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約内容・重要事項説明書で説明し、十分に読んで理解・納得の上で押印している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関に鍵付きの意見箱を設置している。面会や行事等の来所時に意見を拝聴し運営に反映させている。</p>	<p>意見箱の設置に合わせて、面会時に担当者から最近の様子をお知らせする事をきっかけに、家族の声を聞くように努力している。聞き取った情報はミーティングで個人情報に配慮しながら共有しケアに生かしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>日々の業務やミーティングで職員の意見を聞いている。管理者は代表者へ報告し、意見が反映されるように業務に取り組んでいる。又、業務改善については職員それぞれが意見を出しやすい環境にし、話し合いの場を持っている。</p>	<p>夜勤専従スタッフを2名置き、管理者は日勤帯で勤務し、職員と業務の中で会話できる時間を多くしている。変更点や決定事項については、連絡ノートを活用し、全員が確認したことを把握するためにノートにサインを義務付けている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>年1回申告書があり、職員は希望や意見を伝えている。各自の努力・実践を把握し向上心を高めるように努めている。研修や勉強会の為の勤務調整を行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>内部研修（SWOT分析）・外部研修を受けており、学んだことを報告書にて提出する。又、各自が学んだことを職員に伝達講習をする。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>勉強会・研修会に参加し同業者との交流を図り情報を得ている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>本人と事前に十分な話し合いを持ち、相互訪問を行い、関係作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>家族と事前に十分な話し合いを持ち、家族の思い・要望に添える様努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>サービス利用を開始する段階で本人・家族と十分な話し合いを持っている。必要であれば、他のサービスを説明、紹介する場合もある。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>一緒に時間を共有し、対話をしたり食事をとる等努めている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>月に1度手書きの1ヶ月の様子を届けている。来所内には本人と家族がゆっくり話ができる様に努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>理容院やかかりつけ医院等は職員付き添いのもと、支援に努めている。</p>	<p>近所の理容院へは職員が付き添って行っている。遠方の利用者も多いため、毎月担当者が近況報告や、利用者に関するお願い事項等を手紙に書いて家族や親しい人との関係を維持できるようにしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	利用者同士の関係を把握し、スムーズに交流し対話出来る様に職員が間に入ることで関わりが持てている。		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	入院時は職員は毎日面会に行き、相談支援に努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	職員の気づきや家族・本人の希望等をアセスメントを通し、整理し区別し把握に努めている。	入居時はケアマネジャーが訪問し、本人・家族に面談の上、環境についてもアセスメントを行い、ニーズの把握をしている。2回目からは施設において担当者が日々の変化を把握し、ケアマネジャーと協議し本人の真の意向を把握するように努力している。	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	入居前面接を行い、本人・家族に生活歴やこれまでの経過等を聞き暮らしの把握に努めている。		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	心身状態を把握し、その方に合った過ごし方が支援出来るよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人の言葉や行動、家族との話などケアプランに役立てる様努めている。ケアマネジャーが1ヶ月毎にモニタリングを行っている。</p>	<p>職員間ではミーティングを通して、一人ひとりの日々の変化や希望を汲み取るようにし、ケアマネジャー及び管理者に報告してプランに反映している。</p>	<p>本人の意向や変化については担当者が細かく把握して、管理者及びケアマネジャーに報告され、プランに反映しているとの事ですが、家族・本人を含む関係者で一同に会しての担当者会議を開催されることで、更に利用者本位・自立支援の介護計画が立てられると期待します。会議録も残してください。</p>
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の記録が一方的なものにならない様、利用者の様子とその時の気づきを記入し、ケアプランに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>必要時柔軟な支援や要望に応じてデイサービスに遊びに出掛ける等の多機能化に向けた準備がある。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の行事等に参加するようにしている。専門学生の受け入れ等もあった。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居時にかかりつけ医を確認し、希望があれば引き続き受診して頂いている。希望がない場合はホームのかかりつけ医に往診して頂いている。体調不良時には連絡しすぐに対応している。</p>	<p>入居時にかかりつけ医を確認して、希望に添って入居後の主治医を決定している。緊急時には主治医に連絡を取り、つかない場合は協力医師で対応している。家族の都合がつかない場合は、職員で受診同行を行なっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	看護職員と介護職員とで情報共有を行い、気づき等相談をしながらケアを行っている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院した際には毎日面会に行き、安心して治療出来る様に早期に退院できるように情報交換・相談に努めている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	会社全体で看取りを行う方針を家族に説明している。重度化際の家族の意向を再度確認し、主治医の協力を得ながら最適なケアを行うよう努めている。	会社の方針として看取りケアの実践を挙げており、入居契約時に説明をしている。病状が重症化した際に再度、家族の意向の確認をし、主治医との連携で最適なケアの実践が出来るように取り組んでいる。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	様々な対応が出来る様に内部研修を行い、実践力を身に付けるよう努力している。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	年2回防災訓練を行っている。運営推進会議にて、協力体制について話し合っている。	年2回の訓練のうち一回は消防署に参加してもらい、設備点検・消火器の使い方等の指導等行なっている。2階からの避難には困難が想定されることから、火気の持ち込みは禁止としている。	年2回の訓練は実施されているが、近所の環境や、施設の消火設備、建物の構造からすると、消火、避難訓練に際して近隣住民の協力が必要かと思われます。人命救助を第一に考えて、夜間・日中それぞれの想定で近隣、地域と合同訓練を実施し、日常的な協力体制が出来ることを期待します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	個々の排泄パターンを把握し失敗のないように、こまめに声掛けを行ったり、失敗した際も他の方に気付かれない様、対応している。	常に利用者と一緒に居ることから、職員間で情報を共有するときは、不快感を感じることが無い様に個人名やプライドに関わるような内容については、特に注意をして会話をするようにしている。大声、私語はしないことを申し合わせている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	飲み物の希望を聞いたり、選択できるものを用意し、自己決定できるように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりの生活スタイルを把握することで、希望に沿った支援をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	毎日整髪している。定期的に近くの美容院で散髪して頂いている。お花見や旅行、又はご家族との外出時などにお化粧品やスカーフなどでその方らしくおしゃれして頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	利用者と一緒に準備や盛り付け等行っている。味付けや切り方など話し合いながら行っている。	週に一回程度は買い物と一緒にいく、食事の準備で出来ることは一緒にする、味付けも利用者に決めてもらう、汁物の出しは必ずイリコから取る、等食事を楽しんでいただく為の工夫をしている。庭で収穫した梅で毎年梅酒作りを利用者と一緒にしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。	食事量や水分量は記録し、状態を把握出来る様にしている。利用者の状態に応じて別のメニューを用意して対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後口腔ケアは行っている。本人の状態に合わせ、声掛けをしたり、用具を変えたりして対応している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄のパターンによってはトイレ誘導回数を多くしたり，起床時に牛乳やお茶を経済的な面も考え早めの声掛けを行っている。	排泄の改善はなかなか難しいが，一人ひとりのパターンを知り失敗されないようにトイレへの誘導をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便確認を毎日行っている。腹部マッサージを行ったり，起床時に牛乳やお茶を飲用し身体を動かすことで排便を促している。医師の指示にて下剤を定期的に服用している方もある。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。	週3回は入浴して頂いている。時間帯は14時～16時頃、個々の体調を確認し、安心して入浴出来る様支援している。	希望に応じて14時～16時の間で、週3回から4回は入浴出来る体制を整えている。季節感を感じていただくために柚子湯、菖蒲湯など好みに応じて対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>利用者によっては午睡の時間をとったり、休息の時間をとり、安眠がとれるように室温・寝具・衣類の清潔等の支援をしている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>薬の効能書きをケースにとじ、症状の変化に気を付けている。服薬時は職員が見守り、介助を行っている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>一人ひとりの力を活かして、テーブル拭きや盛り付け等をして頂いている。1年間を通して行事が楽しくなるよう支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>体調を考慮しながら、戸外に出掛けられるよう努めている。家族にも協力して頂き、旅行にも出掛けている。</p>	<p>天候を見ながらであるが、気分転換と健康維持の目的として可能な限り戸外へ出るように取り組んでいる。歩行が困難な人はウッドデッキで外気浴をしている。また、年に一回は家族へ協力を依頼してバスで遠出の旅行を実施している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>利用者・ご家族からお金を預かる場合は預かり金ノートを個別に作り、レシートを添付、ご家族が来所時に確認印を頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	書き方ノートに名前や住所等を書き、字を忘れない様になっている。携帯をもたれている方もいる。希望時には子機電話を使用し自室でお話しして頂いている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	玄関には出来るだけお花を飾る様になっている。庭の樹木の手入れも行い、ウッドデッキや窓から眺められる。	キッチンとリビングが繋がっており、食事の支度時の香りが漂い、食器の音や水の音が聞こえる等生活感を感じることが出来る。縁側からは、広い庭に咲く季節の花を愛でることが出来る。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビングにソファ等置き、くつろげる場所を作っている。又、テーブルは相性に配慮し席を決めている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご本人様が使用されていたタンス等、家族の写真や部屋に置いている。仏壇にお茶やお花をお供えている。	各自の居室は、可能な限り家族に環境の整備をお願いしている。担当職員は特に室内の衛生管理や安らげる空間作りとして、本人の意向確認の上、写真、カレンダー、思い出の品、作品等の展示をしている。また、シーツの交換は一週間に一回を原則としている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	トイレやお風呂場、利用者のお部屋と分かる様に工夫している。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームよってきんさい二葉の里

作成日 平成26年11月12日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	チームで作る介護計画とモニタリング ゲーム、管理者、家族、担当者と四者会議を行っていない	四者介護を開催し、その人にあつた介護計画を立案し評価・修正していく	・四者で1ヶ月に1回話し合う ・家族から収集した情報、職員間での情報は計画作成者と共有する	6ヶ月以内
2	35	災害対策 夜間・昼間を想定して地域住民との連携がどれだけとれるかの把握と訓練実施	自治会長と連絡を取り、災害時の応援体制作りをしていく	年2回の避難訓練時、地域住民の方の協力を得て一緒に行う	6ヶ月以内
3	4	運営推進会議を活かした取り組み	事業所の取り組み以外にサービス向上に向けた話し合いができる	運営推進会議の参加者だけでなく地域住民の意見が反映できるような働きかけをする	1年
4	3	事業所の力を活かした地域貢献	・地域の認知症で困っている方の窓口となる ・認知症対応についての勉強会ができる	・事業所が行っている事を地域へ伝達 ・職員間の知識・技術向上	2年
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。